



橋本市指定文化財 大般若経 巻131 神野々・観音寺蔵(展示番号21)

令和4年4月8日	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	副館長 竹中康彦
電話	073-436-8684(学芸課)

数のパワーでコロナ退散！

— 県立博物館で特別展「きのくにの大般若経—わざわいはらう経典—」を開催—

大般若経^{だいはんにかきよう}は、形のあるものにこだわらないという智恵、すなわち「空^{くう}」の思想を説いた経典です。飛鳥時代に日本に伝わってきたのち、疫病や自然災害など、現世のさまざまなわざわいを「空」にする、つまり取りのぞくはたらきがあるお経として、中央から地方へ広まっていきました。600巻にも及ぶ圧倒的な数量があるにもかかわらず、和歌山県内には奈良時代から明治時代初めにかけて、書写や印刷によってつくられた大般若経が少なくとも200例近く残されています。

この4年間、県立博物館は東京大学史料編纂所との共同研究で、小川八幡神社(紀美野町)に伝来する大般若経の調査を行ってきました。奈良時代から室町時代までの、手書きの経巻600巻が全て残され、とくに奈良時代の経巻が120巻も含まれており、全国的にみても大変貴重な資料であることが、あらためて確認できました。

このたびの特別展では、初公開となるこの小川八幡神社の大般若経をはじめ、県内に残されている代表的な大般若経を展示します。手をつくして、各地から大般若経を入手しようとした、人びとのいとなみや思いにふれていただければと思います。

- 【展示構成】 I 小川八幡神社の大般若経 II 一筆経^{いっぴつきよう}—一人で書写した大般若経
 III 移動する大般若経 IV 版経^{はんきよう}—印刷された大般若経
 V コレクションされた大般若経

[展示資料：34件137点(県指定文化財4件12点・市町村指定文化財9件36点を含む)]
 (※別添のちらし・展示のみどころ・展示資料目録も、ご参照ください) *画像提供可

特別展「きのくにの大般若経—わざわいはらう経典—」

- * 令和4(2022)年4月23日(土)～6月5日(日) 9:30～17:00(入館は16:30まで) * 毎週月曜日休館
- * 会場 和歌山県立博物館 企画展示室(常設展「きのくにの歩み—人々の生活と文化—」と併催)
- * 主催 和歌山県立博物館 * 協力 東京大学史料編纂所
- * 一般：520円(420円)、大学生：310円(250円) ()内は20名以上の団体料金
 高校生以下・65歳以上・障害者・県内在学中の外国人留学生は入館無料
- * 関連行事 博物館講座 会場：和歌山県立博物館2階学習室
 - ① 5月8日(日) 13:30～15:00 「和歌山県内の大般若経」
 - ② 5月22日(日) 13:30～15:00 「小川八幡神社経の魅力と謎」
 講師 竹中康彦(当館副館長)
 ※事前申込制 先着各20名〔4月26日(火)9時30分より電話(073-436-8670)で受付開始〕
 ※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、中止となる場合があります。
- * 担当 和歌山県立博物館 副館長 竹中康彦
 〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 《和歌山城南側》
 (TEL: 073-436-8684(学芸課直通) E-Mail: admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp)